



こもれび

Nagasaki Prefecture Shimabara Hospital

2017 春号



地域に信頼され、親しまれる病院を目指して、みなさまと当院をつなぎ、森に差し込む“こもれび”のような、ひとすじの光をお届けしたいと思います。

有明の森フラワー公園

Contents

- 平成29年度 長崎県島原病院新年度の取り組み
長崎県島原病院 院長 徳永 能治 2
- 部門 Topics
医事統計 数字で見る島原病院 3
- 専門医に聞く
外科の50年とこれから
外科診療部長 東 尚 4・5
- 連携医療機関のご紹介
いとう整形外科 6
- ひだまりサロン紹介 6
- 新任医師紹介 7
- 栄養班
おうちで簡単！おいしい kitchen「いわしの大葉巻き」..... 8

病院理念

患者さん本人の立場に立った医療

病院指針

1. 早期診断、早期治療、早期リハビリテーションを医療の基本指針とします。
2. 診療にあたっては、インフォームド・コンセントを基本にして、患者中心の医療を展開します。
3. 早期退院と医療の継続を目的に病診連携、保健福祉の連携など、地域につながるチーム医療を展開します。
4. 地域医療を支援する施設として、常に医療水準の向上に努めます。
5. 経営基盤の確立に努め、協働、相互扶助、相互啓発を職場の規範として活力ある病院づくりを進めます。



平成29年度 長崎県島原病院 新年度の取り組み

長崎県島原病院 院長 徳永 能治

当院は昭和41年、「長崎県立島原温泉病院」として開設されました。その後、平成14年に「長崎県立島原病院」に名称を改め、更に平成21年4月、長崎県と島原半島3市を含む5市1町で構成する長崎県病院企業団の設立に伴い、長崎県から長崎県病院企業団へ移管されました。その際、名称は「長崎県島原病院」と改め、地域の中核病院としての役割を果たすため、職員一同日々努力しております。

創立51年を経過し、私たちが目指す医療：「地域医療の向上に寄与すること」をタイトルとし、5つの病院目標を掲げ、職員全員が一致団結して地域医療の向上に貢献いたします。

新年度病院目標

- 1 **島原半島内の健康に関する諸機関との連携を推進します。** 即ち、島原市医師会、南高医師会、行政、市民からの要請をスムーズに受け入れ協働する態勢を進めます。また、かかりつけ医、回復期病院はもちろん介護・福祉施設との双方向の情報交換を密にし、相互の役割分担や医療介護連携を推進し、地域完結型医療体制を目指します。
- 2 市民公開講座を島原半島各地で継続実施し、電子カルテ共有システムである島原メディカル・ケアねっと、ホームページ、情報誌、ラジオ、テレビなどの**いろいろなメディアを使い地域の皆様の役に立つ情報発信を推進いたします。**
- 3 診療報酬改訂に速やかに対応し、電子カルテデータ等に基づく正確迅速な診療情報分析システムを構築し、**安定した健全な病院経営を目指します。**
- 4 職員の業務、教育研修、接遇改善活動を行い、**地域の中核病院として質の高い人材育成、医療の提供を目指します。**
- 5 **病院職員が働きやすい職場づくりに取り組みます。**

とりわけ**救急医療、がん医療、脳卒中医療**は地域医療の中核をなすものであり、継続的な充実を図っていきます。

地域の皆様に信頼され、親しまれる島原病院を目指して努力してまいりますので、今後ともなお一層のお力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。

医事統計

医事係

数字で見る島原病院

○外来及び入院患者数

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
外来患者数(人/日)	289.5	249.3	240.2
紹介患者数(人/年)	5,375	5,077	5,276
平均新入院患者数(人/日)	12.9	11.6	12.6
平均入院患者数(人/日)	205.2	194.7	190.4
平均在院日数(日)	14.8	15.8	14.1



○手術件数

診療科	内容	H26年度	H27年度	H28年度	診療科	内容	H26年度	H27年度	H28年度
外科	消化器及び腹部内臓	355	288	279	整形外科	下肢骨接合	192	201	182
	頭頸部・体表・内分泌外科	228	173	158		上肢骨接合	77	103	69
	乳腺	58	56	34		人工骨頭(股)	72	59	66
	小児外科	5	4	12		鏡視下関節手術	12	5	6
	呼吸器	9	4	5		腱の手術	26	14	15
	各臓器の外傷	1	3	1		神経の手術	11	3	2
小計	656	528	489	関節形成		79	41	35	
脳神経外科	脳梗塞	9	7	5		その他	131	107	115
	脳血管障害	12	4	12	小計	600	533	490	
	高血圧性脳内出血	7	18	9	泌尿器科	腎・尿管悪性腫瘍手術	5	0	2
	急性硬膜外血腫	1	1	1		根治的前立腺手術	5	1	0
	急性硬膜下血腫	1	2	1		根治的膀胱全摘術	0	0	0
	慢性硬膜下血腫	37	49	47		尿管皮膚瘻術	0	0	0
	水頭症	6	6	6		経尿道的前立腺切除術	8	1	0
	脊椎・脊髄	0	0	0		経尿道的膀胱腫瘍摘出術	66	10	6
	脳神経減圧術	0	1	0		前立腺生検	119	33	27
	血管内手術	11	12	13		その他	82	29	12
	脳低位的放射線治療	12	2	1		小計	285	74	47
	その他	11	18	10		全科合計	1648	1255	1131
小計	107	120	105						



外科診療部長 東 尚

Takashi Azuma

外科の50年とこれから

はじめに

当院は、1966年温泉を利用したリハビリテーション病院として「長崎県立島原温泉病院」の名称で開設されました。1990年に始まる普賢岳噴火災害を乗り越え、2002年に新病院の建て替えと同時に「長崎県立島原病院」と改名、さらに2009年に「長崎県島原病院」と名称が変更されました。

開院当初より長崎大学第二外科（現、移植・消化器外科）から外科医派遣が継続して行われ、島原病院50年の歴史と共に地域医療に貢献してきました。

外科の50年

1966年度（初年度）の手術症例は3例でしたが徐々に症例数が増え、現在では年間500～600例となっています（図1）。黎明期の1969年、手術難度の高い「臍頭十二指腸切除術」が長崎県で初めて行われたことは特筆すべきことです。

当科で行う手術の内訳は、消化器疾患（消化管、肝臓、胆道、膵臓など）を中心に、乳腺、甲状腺、ヘルニアなどです（表1）。全症例の約80%が全身麻酔で手術を行っています（図2）。救急告示病院として救急疾患にも対応しており、約20%が緊急手術です。がん患者さんに対しては手術だけでなく、化学療法、放射線治療、緩和治療などを適宜組み合わせ治療を行っています。

外科開設以来50年、先輩諸氏の努力により地域の皆様の信頼を得、県南地域の中核病院としての役割を果たしています。現在では、将来の医療を担う研修医や若手医師の教育も行っています。

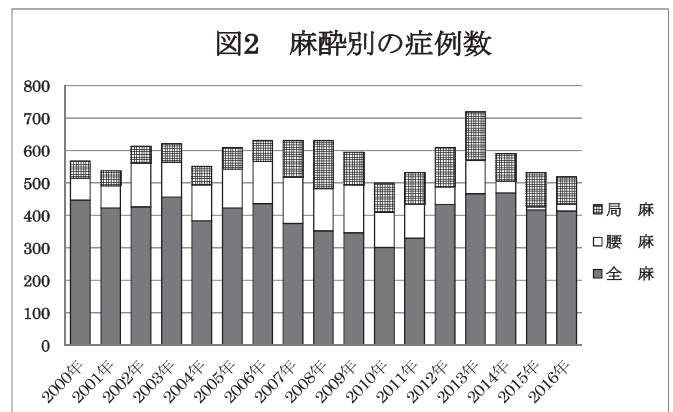
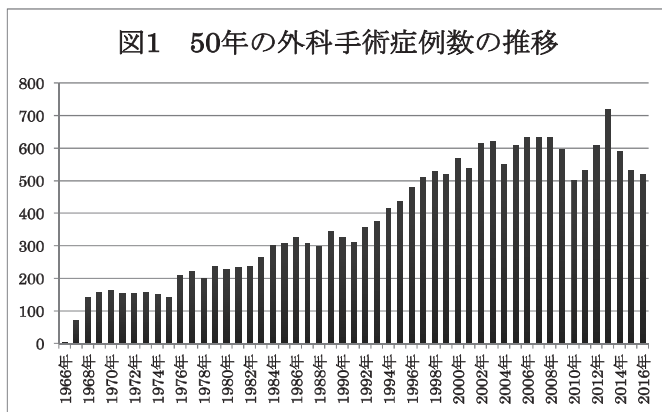


表1 手術の内訳

臓器別\年度	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
消化管・後腹膜・骨盤腔	208	195	149	185	184	262	206	178	178
肝・胆・膵・脾	92	97	70	77	144	82	82	79	96
虫垂炎	22	28	19	28	25	44	33	31	30
尿管・大腸・腹壁・閉鎖孔ヘルニア	85	114	91	106	87	111	126	80	95
乳腺	99	55	70	55	50	63	51	61	26
呼吸器	14	7	12	4	6	14	6	5	4
頭頸部・体表	39	27	23	27	26	32	13	26	21
甲状腺・副甲状腺	9	9	8	2	8	2	4	10	7
小児	19	13	22	8	9	10	7	5	12
CVポート	43	49	34	37	70	95	61	53	49
外傷・その他	0	1	1	2	0	4	1	3	0
合計	630	595	499	531	609	719	590	531	518

これからの外科

最新の手術症例の年齢層(図3)を見ると、40歳未満は7%、60歳以上は75%です。特に80歳以上の高齢者は25%に達します。これは、いわゆる「少子高齢化」を表わすデータですが、加齢に伴う患者さんのリスクへの対応は、医療人が直面している課題の一つです。

私たちが目指すのは「患者さんにやさしい外科治療」です。そのひとつに侵襲の少ない手術法である鏡視下手術の導入です。鏡視下手術とは、必要最小限の切開創で手術用の内視鏡を用い、モニター画面を見ながら手術を行う方法です(写真1)。切開創を小さくすることで、術後疼痛の軽減や早期離床が可能になります。消化管(胃や腸)、胆嚢、脾臓などの腹腔内臓器や単径ヘルニア

アに対しても積極的に行っており、手術症例は年々増加しています(図4)。

また、私たちは「チーム医療」を大切にしています。「チーム医療」とは、手術の前後を通して医師や看護師だけでなく、薬剤師、栄養士、リハビリなど様々な職種のスタッフが患者さんに関わりお手伝いをすることです。そうすることで、患者さんの不安を軽くし、術後合併症の予防や早期回復・早期退院ができるように援助しています。

今後も地域の皆様が安心できるような「患者さんにやさしい外科治療」を目指して努力を続けていきたいと思えます。

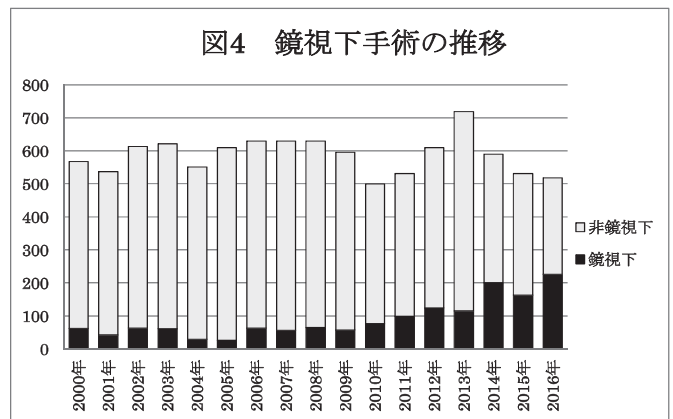
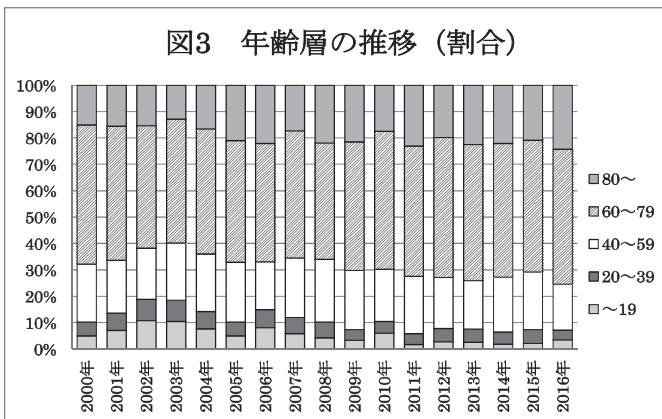


写真1 鏡視下手術の様子



連携医療機関のご紹介

これからの医療は役割分担と連携が大切！
いつもご協力いただいている地域の医療機関をご紹介します。

医療法人社団披雲会 いとう整形外科

院長 伊東 大介先生
島原市広馬場町373-1 ☎0957-61-0110

患者さんの笑顔を目指して

当院は広馬場交差点みなと商店街入口にある古川市長のYショップ・フルカワ隣に位置し、1864年勝海舟、坂本龍馬が長崎に行く際に、熊本から最初に上陸した湊新地に面しています。平成18年に伊東外科(平成24年末閉院)の分院として下川尻に開院し、平成22年1月に現在地に移転しました。

高齢者から幼児まで幅広い年齢層の方が来院されています。切創、打撲捻挫、骨折、巻き爪、五十肩、肩こり、膝痛、腰痛を主に診療し、活気にあふれた明るいスタッフが患者さんの笑顔を増やせるように頑張っています。最近では骨粗鬆症に力を入れて取り組んでおり、骨密度や骨代謝マーカーを測定し患者さん個人の状況を把握した上で、薬の使い分けができるように心がけています。

日頃より島原病院の先生方、スタッフの皆様には大変お世話になっております。特に時間外の急患に対して快く引き受けて下さり、とても感謝しております。今後とも微力ではございますが地域医療に頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



ひだまりサロンに参加しませんか

がん患者やその家族が、心の悩み、不安、体験、生活上の工夫などを語り合い交流する場として「ひだまりサロン」を開催しております。

心配ごとや不安な気持ちをひとりで抱えずにお話しするだけで気持ちが軽くなるかもしれません。

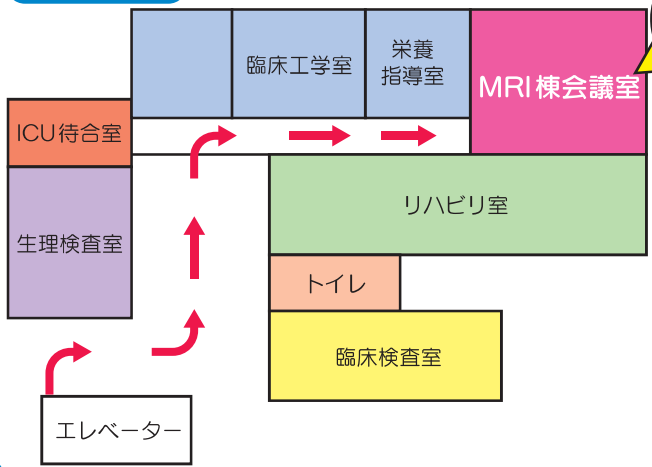
どうぞ気軽にお立ち寄りください。

開催日時 毎月第3火曜日 14:00 ~ 16:00
(祝祭日・年末年始を除く)

場所 長崎県島原病院 MRI棟 2階会議室

対象 がん患者さんとそのご家族
(当院にかかっていない方の参加も可能です)

2階MRI地図



ひだまりサロンの
お部屋



お問い合わせ先

長崎県島原病院 地域医療支援センター
医療相談室 1階受付・会計の右
電話 0957-63-1145(内線106)

いわしの大葉巻き

いわしと大葉の季節は6月から。旬の食材は栄養価が高く、よりおいしく食べることができます。旬の食材を使って季節を感じながら、より料理を楽しみましょう！



健康のPoint!

梅干しを調味料がわりに使用することで、塩などの調味料がなくても梅やシソの風味で美味しく食べることができます。塩分が気になる方は、減塩タイプの梅干しや、はちみつ梅を使用すると塩分を抑えることができます。

いわし等青魚には多価不飽和脂肪酸のEPAやDHAが多く含まれており、脂質異常の予防に効果があります。肉ばかりに偏らないよう、魚を食べる習慣を持ちましょう。

【材料(2人分)】

いわし	3尾
梅干し	2個
シソ	6枚
油	少々

【栄養素】

エネルギー	: 230kcal
たんぱく質	: 20g
食塩量	: 2.5g*

*上記塩分量は塩漬梅干しを使用した場合の塩分量です。

【Point】

Point ①

梅の代わりにとろけるチーズを使っても美味しく食べることができます。チーズの目安は1尾につき1/2枚程度です。

Point ②

巻たいわしに竹串や爪楊枝を刺して固定すると、崩れずに焼くことができます。

Point ③

アルミホイルに少量の油をひくことで、いわしがはりつかずに仕上がりがきれいになります。

Point ④

食べるときに味が薄く感じたら、少しレモンを絞ると塩分を上げず美味しく食べることができます。

【作り方】

- ① いわしを開き、頭から尾にかけて半分に切ります。
- ② うめぼしの種をとり、包丁でたたきます。梅干しの代わりに練り梅を使ってもOK！
- ③ ①の切ったいわしにシソを乗せ、その上に②で切った梅を塗り、巻きます。
- ④ アルミホイルに少量の油を敷き、③を並べグリルで火が通るまで焼いたら完成！



外来受診時間

午前8:45～午前11:00

受付時間外に受診される場合は、救急対応となります。
平成26年4月7日より小児科再開しております。
※詳しくはホームページをご覧ください。

休診日

土・日・祝日

年末年始(12月29～1月3日)